

## 未来にはばたく京都へ!



## 平成24年度予算編成に関する 要望を門川市長に提出

公明党京都市会議員団は、平成23年12月7日、京都市予算編成にあたり、重点要望50項目を含む計163項目の要望書を門川大作市長に提出しました。

平成24年度を、東日本大震災をはじめとする未曾有の災害や世界的経済危機から本格的に復興する初年度と位置づけ、「市民の生命と財産を断じて守る」との決意で具体的な施策を提案。

重点項目は、①防災・復興対策などの意思決定に女性の視点を生かす ②「京都市自転車安心安全条例」に基づいた走行マナー向上施策の積極的な推進 ③空き家対策への着実な取り組み ④基金を活用した介護保険の保険料負担の軽減——など、市民の安心安全を確保し、生活を向上させる視点を重視しています。

門川市長は、「要望をしつかり検討し、最大限の努力をしていきたい」と語りました。

## 平成24年度・京都市予算編成に対する要望(要旨)

### I. 未来にはばたく京都

#### 1 京都創生・未来のまちづくり

- ・市長のリーダーシップで「はばたけ未来へ!京プラン」(京都市基本計画)を推進し、市民に夢と希望を。
- ・行財政改革への具体策を策定し、確実に実行。
- ・市民協働の景観政策推進で、誇りの持てる京都のまちづくりを。

#### 2 環境先進都市

- ・家庭や地域での環境の取組を支援(環境教育推進、環境家計簿の普及促進、ライフスタイルの転換、「エコ学区事業」など)
- ・脱原発社会を目指し、メガソーラー・エコカー普及・バイオマスエネルギー活用など、自然エネルギーや再生可能エネルギーの研究・誘致・普及促進。
- ・家庭ごみ有料指定袋制による財源の有効活用。

#### 3 市民に愛される市政への改革

- ・民間経験者も含め、新たな人材の確保と育成。
- ・「京都市補助金適正化条例」の適正な施行運用と市民への情報公開。

#### 4 産業・経済・観光の振興

- ・中小企業金融支援制度の拡充および相談体制・利便性向上。
- ・産・学・公連携による新産業の創出、伝統産業振興、商店街振興の促進。
- ・ナラ枯れ対策など三山保全、農作物や住宅街の有害鳥獣被害防止。
- ・京都観光の充実。慢性的な交通渋滞解消や施設整備を推進。



### II. 住み続けたい京都

#### 5 防災力の向上

- ・住宅及び市有建築物の耐震化を向上。特に木造住宅耐震化促進のための取組強化。
- ・台風やゲリラ豪雨等の大規模水害対策の強化。
- ・防災、復興対策など意思決定の場や避難所運営に、女性の視点を生かす。

#### 6 地域活性化・地域コミュニティ

- ・岡崎地域および梅小路公園周辺の活性化を推進。
- ・「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づく各地域の取組支援。
- ・NPO法人の支援強化。

#### 7 安心・安全のまち

- ・「京都市自転車安心安全条例」に基づき、交通安全教育や、マナー向上施策の推進および走行環境の改善。
- ・熱中症に対する広報啓発や搬送体制の充実。

#### 8 文化・生活の充実

- ・仕事と家庭、地域貢献が調和できる「真のワーク・ライフ・バランス」の推進。
- ・「スポーツの絆が生きるまち推進プラン」に基づく市民スポーツ振興及びスポーツ文化の向上。
- ・「動物愛護センター」(仮称)の早期整備、「まちねこ活動支援事業」の充実。

#### 9 交通・住まいの充実

- ・公共交通不便地域の解消。交通機関のバリアフリー化促進。
- ・駅ナカビジネスなど地下鉄乗客増による「地下鉄経営健全化」を推進。地下鉄ホーム転落防止柵設置など安全性向上。
- ・空き家流通事業の充実と「空き家対策条例」の制定。

### 10 都市基盤の整備

- ・①南部高度集積地区(らくなん進都) ②京都駅南口駅前広場整備計画 ③キリンビール京都工場跡地開発——の推進。
- ・災害に強く、効率的な舗装や橋梁など公共施設の維持管理。
- ・水道管の老朽配水管の布設替えの迅速な推進。山ノ内浄水場廃止に伴う給水区域切り替えによる濁水被害世帯への料金減免制度創設。

### III. ひとりひとりが輝く京都

#### 11 福祉 高齢者 若者

- ・介護施設基盤整備など介護サービスの充実と介護保険料の負担軽減。
- ・「京都市DV相談支援センター」を中心としたDV被害者支援の充実。
- ・ヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防の各ワクチン接種助成制度の継続と高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の助成制度創設。
- ・「市民後見人」養成プログラムの早期確立。
- ・生活保護受給者への自立支援の体制の充実と適正受給対策の強化。
- ・中小企業や地域の企業と若者をマッチングするなど若者の雇用創出。



#### 12 子育て・教育

- ・保育所・学童クラブの待機児童ゼロへの対策強化。
- ・子ども医療費支給制度で入院、通院とともに中学校3年生まで無料化。
- ・児童虐待対策の充実。

# 京都活性化へ 代表質問

京都市会定例会議の代表質問で、公明党市議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成23年9月議会では10月5日に久保勝信議員(山科区)、吉田孝雄議員(上京区)、大道義知議員(南区)が、11月議会では12月1日に谷口弘昌議員(伏見区)と湯浅光彦議員(右京区)が質問に立ちました。

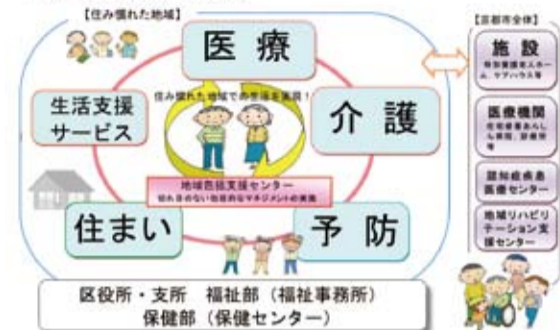


くぼ かつのぶ  
**久保勝信** 議員「山科区」

## 自治型区政への 転換について

久保勝信議員は、転換期の時代を先駆ける地域主権のあり方を提起。新しい住民自治のため、各行政区の区民参画を推進する「自治型区政」への転換を訴えたところ、門川市長は各区の基本計画推進組織に幅広い世代の声を求め、独自性を生かした仕組みづくりのもと予算を増額すると答弁しました。

また、高齢化社会において



京都市版地域包括ケアシステムのイメージ

て喫緊の課題である「安心」と希望の「介護」について言及。地域に根ざした地域包括ケアシステムで365日24時間のサービス提供を実現するよう求め、市長は長期ビジョンに基づいた地域包括支援センター強化を確約しました。

## 学校施設の 電力入札について

さらに、節電が求められている今、京都市全体の公共施設の55%をこえる学校施設の光熱費を節約するため、電力入札制度の拡充を提案。市長は24年度からの本格導入を明言しました。



よしだ たかお  
**吉田孝雄** 議員「上京区」

## 災害時の要援護者 支援について

吉田孝雄議員は、「災害」といわれる新しい時代の節目における自治体の危機管理能力強化を訴え、災害時に高齢者や障がいのある方を優先的に避難誘導し安否確認するため、「要援護者名簿」をデジタル化し、一元化管理するクラウド方式を導入するべ

きと論じました。門川市長は、データが漏れる危険を防ぐ最新技術を研究すると答弁しました。

## 空き家対策について

住宅密集地が多い京都市での防災機能向上と地域福祉を重視し、空き家が危険家屋となることを未然に防ぐため、細街路でも住宅を再建築できる法整備と、適正管理を義務付ける条例制定を提案。



空き家流通促進事業によって生まれかわった京町家

市長から、今年度中に細街路対策の指針を取りまとめ、総合的な

### 久保勝信議員のおもな質問項目

- 学校施設の電力入札について
- 事務事業評価委員会による第三者評価について
- 自治型区政への転換について
- 地域包括ケアシステムの構築について
- 障がい者向けグループホーム・ケアホームの整備促進について
- 農業体験農園の振興について



だいどう よしとむ  
**大道義知** 議員「南区」

## 前立腺がん検診 制度導入について

大道義知議員は、日本人の死亡原因のトップであるがんへの対策強化を取り上げ、男性特有のがん対策として「前立腺が

「空き家対策条例」を検討すると、一歩踏み込んだ答弁がありました。

## ゲリラ豪雨対策について

また、多発するゲリラ豪雨への研究を進め、地下鉄や地下街を総点検し、防災計画と訓練を充実するべきと訴え、副市長は水災害の適切な対策への綿密な検証と具体的な取組みを約束しました。

### 吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 災害時要援護者支援について
- ゲリラ豪雨対策について
- 空き家対策について
- ひとり親家庭支援について



体育の授業で武道やダンスが必須に

ん」の検診制度を早期に実現すべきと訴えました。門川市長は市民の命と健康を守るため、前立腺がん検診制度の導入に向けて検討すると表明しました。

## 中学における 武道・ダンスの 必須化について

また、学習指導要領の改訂によって中学1年生と2年生の保健体育で武道とダンスが必須科目となることから、施設整備・教員育成・無事故対策など、子どもも保護者も安心できる態勢を充実する

べきと主張。教育長は、安全確保のための具体的な対策などを指導計画に明示するなど、万全を期すと確約しました。

## 水道事故発生に伴う 料金軽減制度の 創設について

さらに、西京区洛西地域で連続発生した水道管破損事故を受け、誠実な対応を求めるとともに、今後の水道事業が市民から信頼されるためにも、濁水が発生した時の水道料金を軽減する制度を提案。水道局長は制度の創設を確約しました。

### 大道義知議員のおもな質問項目

- 「市民参加型・地域一体型」の共同発電制度の創設について
- 前立腺がん検診制度導入について
- 水道事故発生に伴う料金軽減制度の創設について
- 再生可能エネルギーの普及拡大について
- 市民後見人の養成について
- 中学校における武道・ダンスの必須化について



スタントマンが実演する最新型交通安全教育

湯浅光彦議員は、自転車の安全問題がクローズアップされている今、条例に基づいた施策として、歩行者の歩道上の安全対策と自転車レーンなど自転車通行環境整備の強化、市民へのルール・マナー向上対策の充実および自転車損害保険普及促進などを、具体的に着実に推進するべきと論じ、門川市長は、市民や観光客のためのプログラムを今年度中に

自転車安心安全条例の具体的な取り組みについて



湯浅 光彦 議員「右京区」

また、児童虐待の未然防止のため、誰もが支えあう安心の子育て環境づくりを具体的に推進するべきと主張。市長は保健師や保育士による家庭訪問をはじめ、行政と地域住民が一体となって、地域ぐるみで子育て支援を進めると明言しました。

児童虐待について

策定すると確約しました。

公共施設の効率的な維持管理を全庁的に取り組むよう求めたところ、副市長から来年度に本格的な計画に着手するとの答弁がありました。



谷口 弘昌 議員「伏見区」

市民の「幸福度」調査について

谷口弘昌議員は、ブータン国王夫妻の来日で注目された「幸福度」に言及。京都市の基本計画「はばたけ未来へー京プラン」の充実のためにも、定期的に「幸福度調査」を行い、市民に幸福を感じて頂けるための施策の実現に向けて活用すべきと主張。門川市長は、政策の検証に当

たつて「幸福度」という観点を盛り込むと答弁しました。

NPO法人の認証について

また、2012年4月から京都府より引き継ぐ「NPO法人の認証手続き」を万全の体制でスタートさせるため、適切な人員確保と情報発信の充実、個人市民税の寄付金税額控除の対象としてNPO法人を個別指定するよう

四条通の歩道拡幅と公共交通優先化について



四条通の歩道の拡幅事業を推進

続いて、四条通の都市

提案。市長から具体的施策を進めると確約がありました。

計画決定については、地元の皆様の不安を解消し、ご理解をいただいたうえで施策を進めるべきと主張。市長から、議員の指摘を踏まえ早期実現に向け全力で推進するとの決意が表明されました。

谷口弘昌議員のおもな質問項目

- 市民の「幸福度調査」について
- NPO法人の認証について
- 四条通の歩道拡幅と公共交通優先化について
- 旧伏見区役所の跡地活用について

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 自転車安心安全条例の具体的な取組について
- 児童虐待対策について
- 障がい者虐待対策について
- 効率的な公共施設の維持管理について



自転車安心安全条例制定後の動き

2010年10月に京都市会本会議で可決成立し、11月17日に公布された京都市自転車安心安全条例。市民の皆様からのご期待にこたえ、具体的な動きが活発化しています。



自転車条例書籍



竹田街道の自転車道



東京都江戸川区視察団受け入れ



自転車マナー向上戦隊ほっとかナイス結成

- 「自転車安全利用推進日」(毎月20日)と「自転車安全利用推進月間」(毎年5月)の広報活動が活発化。
- 各地で自転車走行マナー向上キャンペーンを実施。
- 2011年3月、竹田街道(十条~久世橋間)と、五条通(堀川~川端間)に自転車道を設置。
- 4月、自転車マナー向上戦隊「ほっとかナイス」が結成され、各地の行事で活躍。
- 商店街や歩道の安全対策を進める看板等を市内で順次設置中。
- 7月1日付「日刊警察ニュース」に、京都市一斉マナーアップキャンペーンが報道。
- 京都新聞、朝日新聞、読売新聞などの一般紙に紹介。
- 仙台市、佐賀市、新潟市、弘前市、東京都多摩市、杉並区、江戸川区など、15を超える議会が行政調査に來られ、条例の内容、制定経過、課題等について意見交換。
- 12月、地域科学研究会(東京都千代田区)から『京都市自転車安心安全条例』が発刊。



歩道通行禁止告知幕設置



キャンペーン配布チラシ、ティッシュ

# 市民のために、 議会を改革

—市会改革推進委員会が前進—

平成23年5月、京都市会は全会派の代表による「市会改革推進委員会」を設置。24年1月までに計9回の委員会を開催し、より開かれた議会改革への取組みを協議してきました。(別表参照)

公明党京都市会議員団は、議会のあり方や議員の使命を定める「議会基本条例」の制定を視野に入れ、「市民のために」との視点で基本理念(案)を起案。「見える化」の推進や「市民参加」を主張するなど、積極的に議論をリードしています。

また、23年11月に他都市の議会報告会(13日千葉県流山市・14日埼玉県所沢市)を視察した際には、地元の議員と意見交換しました。



埼玉県所沢市で意見交換



千葉県流山市議会報告会

## これまでに決定した 主な改革案

- ①5人未満の少人数会派に本会議の代表質疑を認める
- ②本会議傍聴者に質疑内容の要旨を配布
- ③委員会の審査内容をホームページ上で事前公開
- ④市政広報板や公共施設に議会開会を告知するポスターを掲示ほか

**中京区**

**青野 仁志**  
あおの ひとし

①1期②くらし環境委員会③政調副会長

**左京区**

**国本 友利**  
くにもと ともとし

①1期②教育福祉委員会③政調事務局長

**上京区**

**吉田 孝雄**  
よしだ たかお

①2期②交通水道消防委員会③幹事

**北区**

**日置 文章**  
ひおき ふみあき

①6期 ②経済総務委員会

**右京区**

**湯浅 光彦**  
ゆあさ みつひこ

①3期 ②教育福祉委員会 ③幹事

**南区**

**大道 義知**  
だいどう よしとも

①6期 ②交通水道消防委員会

**下京区**

**井上 教子**  
いのうえ のりこ

①4期 ②交通水道消防委員会

**山科区**

**久保 勝信**  
くぼ かつのぶ

①3期②経済総務委員会③副団長

**伏見区**

**津田 早苗**  
つだ さなえ

①3期②交通水道消防委員会③政調副会長

**伏見区**

**曾我 修**  
そが おさむ

①3期②くらし環境委員会③代表幹事

**伏見区**

**谷口 弘昌**  
たぐち ひろまさ

①6期 ②まちづくり委員会 ③団長

**西京区**

**平山 賀一**  
ひらやま よしかず

①2期②まちづくり委員会③政調会長

公明党京都市会議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



**京都いつでもコール**  
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。  
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>  
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)

みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを  
公明党京都市会議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732  
●FAX:075(212)3608  
●ホームページ: [公明党京都市会](#)